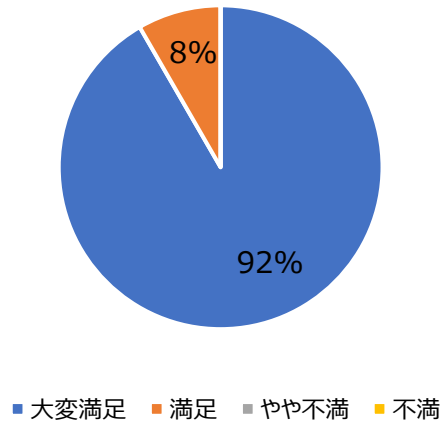
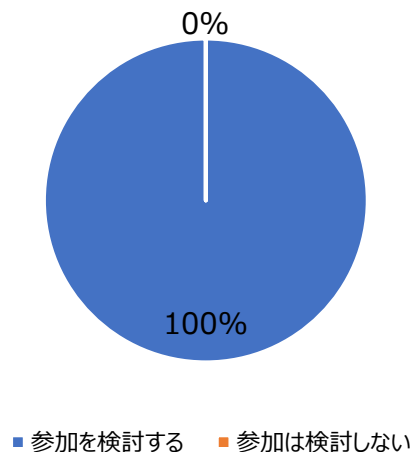


## 2024 年 11 月 8 日(金) 第 2 回応化会大分・延岡地区交流会 参加アンケート

### 今回の交流会開催について



### 次回またこのような機会があれば、積極的に参加したいか



### ・参加した感想

工場見学や企業・業務紹介、講演などどれも貴重な体験でした。自分の業務に活かせる知見も得る事ができ、大変有意義で楽しい時間を過ごす事ができました。

早大応化という繋がりをきっかけに、石油系、化学系企業同士で関係構築できるという点で非常に有意義だと感じました。

コンビナート内まで見学させていただき、とても有意義な時間となりました。大分の食文化に関する講演についても、係わりのある地域の事柄を学べて非常に興味深かったです。

同地区、他社の応化卒業生の近況を聞くことができ、またいろいろな話ができてよかった。2 回続いたので、ぜひ今後も継続していけるとよい。

会社の近況だけでなく、出席者各人の近況の報告もあり、よりよい会になったと思います。

<p>昨年に引き続き工場見学や交流会など充実した内容でしたし、新しい参加者も加わって大分・延岡地区の皆さんのコミュニケーションが広がっていて、素晴らしい会だと感じました。</p>
<p>大分・延岡地区交流会の開催をおこなってくださっている皆さんに感謝している。 普段お会する機会が少ない方との交流ができてうれしく思う。</p>
<p>自社の校友関係者だけでなく、他社の校友と交流できる点が素晴らしい。 校友、特に若手の行動や志向に大いに刺激を受けた。</p>
<p>2回目ですが、昨年よりも近い距離間で皆さんと交流できたように感じました。 また、他社の工場見学はスケール感などもわかってとても面白いです。 講師の話もとてもよかったです。</p>
<p>職場外の方と接する機会はなかなか無いので、交流を通じて非常にいい刺激を受けています。応化という同じ学び舎の下で過ごした同窓との繋がりは、今後の社会人人生においても大切な財産になると感じており、是非とも今後も継続して本交流会に参加していきたいです。</p>
<p>昨年に引き続きの参加で2度目にお会いする方、定期的にお会いしている方も多かったため、前回より緊張せず、よりざっくばらんに色々な話や情報交換を行うことができました。こういった意味でも継続した交流の重要性があると感じた。主催側で調整など大変なことも多かったが、懇親会解散時の皆さんの表情が晴れやかで、楽しく盛り上がったように感じられたので良かった。一方で、前回開催から大きく新しい取り組みを提案・準備できなかったのが少し心残りではあった。</p>
<p>大学から遠く離れた地でも応化会というつながりを通じて様々な年代と交流できるのは、価値観や仕事への意欲をリフレッシュできる良い機会となりました。また、他社の社員と親睦を深めるうえで良い意味でこれだけハードルの低い場はないと思いますので、引き続きこのような交流は大切にしたいです。</p>
<p>同門の先輩方と交流する貴重な機会と、講演や各社の近況報告、懇親会を通じて日々触れることの少ないお話を聞くことができ、非常に充実した時間となりました。</p>

**・開催日程およびイベント（懇親会・ゴルフコンペ）に関する意見・要望**

<p>日程およびイベントについて、とても満足です。（私自身はゴルフの経験が無いので参加できず申し訳ありませんが。）</p>
<p>幹事殿の準備により、とても楽しむことができました。 二次会は弊社関係者が大勢いて、ご迷惑をおかけしました</p>
<p>ご無理の無い範囲で、継続してコミュニケーションを図っていただければと存じます。</p>
<p>応用化学会全体のスケジュールの共有をすることにより、各イベントの意図しない重なりを避けるようにしたい。今回も翌日昼から応用化学会役員会（西早稲田）があり、残念ながらゴルフでの交流ができなかった。現在、基盤委員会・広報委員会等で検討している。 懇親会費はもう少し私が多く出すべきだったと思っております。</p>
<p>今回のような交流会は年1回程度で良いが、その他行事（ゴルフコンペ等の懇親会）は今後も定期的に開催していきたい。</p>
<p>金曜で参加しやすかったです。</p>

今回は SDM 明けということもあり、正式な日程確定に時間を要しましたが、社内への案内や応化会本部サイドとの調整も鑑みますと、もう少し早めに会の案内を流せると望ましいかなと感じました。
開催時期は、熱くなく寒くないこの時期が最適だと感じた。(ゴルフ的にも)
前回から約 1 年とタイミングとしては参加者の負担も少なく程よい日程となったと思います。懇親会やゴルフコンペについても、忘年会シーズンや気温の低下を避けられる意味でも 11 月ごろの開催は都合がよかったです。
イベントは懇親会とコンペに固定してもいいと思った。

### ・本交流会を継続・発展させるためのアイデア

各企業にて本交流会を業務扱いにする。「有給消化が嫌」という理由で不参加とした人が複数いた。厳しい部署ではスライド作成等の交流会準備を業務時間中に行うのが難しい。出張扱いになれば金銭的負担も軽くなり、新規参加のハードルも下がりそう。
具体的アイデアでは無いのですが、延岡・大分地区でのリクルートに何か活用できたりしないかなと思いました
難しいが、ENEOS、旭化成、RESONAC 以外の会社の OB をぜひとも探したいですね。
他の地区でもこのような交流会を企画出来ればと思うので、参加企業の新規開拓として、大分・延岡地区交流会を例にして、全会員に対して各地区で企画した場合の参加希望や希望開催地区についてのアンケート調査をしてみようかと思います。
無理せず、高望みせず、楽しく続けることだと思います。
<ul style="list-style-type: none"> <li>・もう少し参加人員を増やしたが、、良いアイデアが無く申し訳ありません。</li> <li>・応化会会報等での積極的な呼びかけをしていきましょう。 (今回の報告文に目立つ呼びかけの文言を入れる)</li> </ul>
後輩が入ってこないと継続は厳しくなると思いますので、現役の学生（応化委員？）にもご参加いただき会社の良さを知ってもらえたらと思います
<ul style="list-style-type: none"> <li>・工場見学の玉がそろそろ尽きることもあり、再来年度以降に向けた継続的な取り組みに関して協議する必要があるかと感じます。</li> </ul> <p>特に、延岡から移動する際は年休取得が必須であることや宿泊費・交通費が掛かることを考えると、土日を活用した開催形式もありかなと考えます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・（将来構想ですが、）中部支部などと地方開催における継続的な取り組みに関する意見交換や、連携も一つの手になると感じます。九州で開催される学会のタイミングで、応化教授にご足労頂き講演を開催頂くのも一案です。</li> </ul>
開催側として、やはり企業を超えた声掛けの難しさを感じた。各企業間で個人情報管理のハードルに差があり、また各人が現在どの事業所にいるかというところの情報まではアクセスが難しいケースがあるとも聞いた。今後、参加企業は増やしたいと考えており、より応化会や学生・研究室のネットワークの力も頼りながら、九州地区で働いているメンバーに効率よく声掛けができるような方法は引き続き模索した方が良く感じた。

交流会を発展させていくうえで参加者を確保していくことは必須と考えます。

今回 ENEOS で参加者を募る際、前回参加していない企業にも応化卒業生がいると考え募集をしたかったのですが、会社の公式イベントではない点から会社経由で卒業生を聞くことはできませんでした。

伝手や社内での権限の少ない若手が多い事業所では参加者の新規募集が難しいため、参加者の確保について交流委員会のほうでもご助力いただけますと大変助かります。

若手が継続して参加する必要があるが、入社 + 大分配属が続かないと厳しい。就活生にもこういった地方での取り組みをアピールしてもいいと思った。（そのためにも継続が必要）

以上